



つばさだより No.213
2012年8月



つばさ薬局 多賀城店	☎022(366)8001	吉川店	☎0229(22)7010
長町店	☎022(308)5711	泉店	☎022(772)1571
船岡店	☎0224(58)1065	若林店	☎022(289)8777
中新田店	☎0229(64)1888	松陽台店	☎022(361)9444
松島店	☎022(353)2990	とことろ店	☎0229(31)2550
玉川店	☎022(365)2838		

暑さ厳しい季節になりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？
水分をこまめにとって熱中症に注意しましょう。今回は「疥癬」についてお話しします。

かい せん 疥癬について

● 疥癬とは

疥癬（かいせん）は「ヒゼンダニ」という小さなダニがヒトの皮膚に寄生しておこる皮膚の病気で、ヒトからヒトへうつります。もともとは性感染症として始まりましたが、最近では高齢者とその介護者に多くみられているようです。疥癬には、①通常疥癬（普通に見られる疥癬）と②角化型疥癬（ノルウェー疥癬）の2つのタイプがあります。どちらも同じダニが原因ですが、寄生する数が大きく異なるため、感染力に違いがあります。

● ヒゼンダニとは

小さなダニで雌は0.4mmです。手首や手のひら、指の間、ヒジ、わきの下などの表皮の角質に疥癬トンネルと呼ばれる横穴を掘り、その中に卵を産みつけ、幼虫から成虫になっていきます。



ヒゼンダニはヒトの血液は吸わず、角質の垢を食べます。またヒトの体温が最も生活に適しており、ヒトの肌から離れると長く生きられません。高熱や乾燥に弱く、50℃以上の環境に10分間以上さらされると死ぬことがわかっています。

感染経路と潜伏期間

① 通常疥癬

長い時間、肌と肌、手と手が直接接触することで、ダニが移動して感染するため、少しの時間ではほとんど感染しません。まれに患者さんが使用した寝具や衣類などを交換せずにすぐに他の人が使用することで感染することもあります。感染してから症状が出るまでの潜伏期間は約1～2カ月です。



② 角化型疥癬

高齢者や免疫不全者で発症します。ダニが多く、感染力も強いいため、短時間の接触、衣類や寝具を介した間接的な接触などでも感染します。また、剥がれ落ちた垢（カサブタ、角質など）にも多数の生きているダニが含まれていて、それが付着することでも感染します。角化型疥癬の患者さんから感染する場合、4～5日の潜伏期間で発症することがあります。この場合、まずは通常疥癬として発症します。

	通常疥癬	角化型疥癬
寄生するヒゼンダニの数	数十匹以下	100万～200万匹
患者さんの免疫力	正常	低下している。
感染力(他人へうつす力)	弱い	強い
主な症状	赤いブツブツ(丘疹、結節)、疥癬トンネル	厚い垢が増えたような状態(角質増殖)
かゆみ	つよい	不定 (まったく出ない人もいる)
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身 (一部にしか出ない人もいる)

治療

ヒゼンダニを殺すことを目的とした飲み薬（イベルメクチン）や塗り薬が使われます。また、かゆみに対してはかゆみ止めの飲み薬（抗ヒスタミン薬）が処方されることもあります。しっかりと治療した場合、2週間程度で症状は軽快します。治療内容や症状によって、治るまでの期間が長くなる場合があります。治療後も一定期間は皮膚のチェックが必要です。

薬の使い方や、やめる時期などについては主治医の指示を守りましょう。また、妊婦や妊娠の可能性がある方、授乳婦の方は主治医に申し出るようにしましょう。

【内服薬】

- イベルメクチン：ヒゼンダニを麻痺させて死滅させます。卵の状態、爪疥癬では無効です。空腹時に水で飲みます。副作用として、めまい、悪心、嘔吐の他、頻度は低いですが白血球減少や肝機能障害が起きることがあります。

【外用薬】

正常なところも含めて塗り残しがないように首から下の全身にくまなく塗ります。特に手や指の間、足、外陰部には念入りに塗ります。

- クロタミトン：ヒゼンダニに対して駆虫作用を示します。副作用として刺激症状が出る場合があります。
- イオウ剤：駆虫効果は弱いですが、毒性が低いため、妊産婦や小児に対して用いられています。角化型疥癬には無効です。副作用としてかぶれが起こることがあります。



治療中に日常生活で気をつけること

まわりの方にうつさないよう気をつけましょう。

- ① 通常疥癬では入浴の際、手足の指の間や外陰部を丁寧に洗います。タオルなど、直接肌にふれるものは自分だけで使用します。雑魚寝は避け、パジャマや下着は毎日交換します。

- ② 角化型疥癬ではできるだけ個室を使います。入浴の順番は最後にし、垢（カサブタ、角質など）が飛び散らないように気をつけながら、厚くなった垢をふやかして、こすり落とします。

● 家族の対応

通常疥癬と角化型疥癬では感染力が大きく違うため、とるべき対応が異なります。これらを混同せず、通常疥癬に対して過剰な対応をとらない、角化型疥癬に対して不十分な対応をとらないことが大切です。

- ① 通常疥癬では、患者さんと接する前後はきちんと手を洗いましょう。長い時間、肌と肌、手と手を直接触れないように注意しましょう。同室で布団を並べて寝ないようにしましょう。タオルなど肌に直接触れるものを一緒に使わないようにしましょう。
- ② 角化型疥癬でも患者さんに接する前後にきちんと手を洗いましょう。感染力が強いので、患者さんと接する時は手袋や予防着をつけましょう。使用後はビニール袋に入れ、付着物が飛び散らないようにし、再利用は避けます。患者さんの部屋に入る時は靴、スリッパをはき替えましょう。靴底の付着物を外に出さないように注意しましょう。患者さんの洗濯物は50℃以上のお湯に10分間以上浸した後に洗濯して、十分に乾かしましょう。乾燥機を使用する場合は普通に洗濯してかまいません。患者さんの部屋は掃除機でしっかり掃除をしましょう。また、治療を始めた時と終わった時は市販のピレスロイド系の殺虫剤を患者さんが使っている布団や部屋などに噴霧すると有効です。

※参考文献：疥癬対策マニュアルホームページ、疥癬の診断と治療について(堀内賢二) 日本皮膚科学会ホームページQ&A、疥癬ホームページ、日本医薬品集

つばさ薬局ではセントラルキッチン栄養士による栄養相談を実施しております。食事内容についてお困りの方はお気軽にご相談下さい。

9月の栄養相談予定 (各店10:00~12:00開催です)

3日(月) 船岡店・5日(水) 玉川店・7日(金) 松陽台店・11日(火) 古川店
13日(木) 中新田店・19日(水) こごた店・21日(金) 長町店・24日(月) 多賀城店
25日(火) 若林店・27日(木) 泉店